

法 規 12 問 } 24 問 1 時間
無線工学 12 問

法

規

〔1〕 免許人が無線設備の設置場所を変更しようとするときは、どのようにしなければならないか、次のうちから選べ。

1. あらかじめ指示を受ける。
2. あらかじめ許可を受ける。
3. 直ちにその旨を報告する。
4. 直ちにその旨を届け出る。

〔2〕 再免許を受けた陸上移動局の免許の有効期間は、次のどれか。

1. 5年
2. 4年
3. 3年
4. 無期限

〔3〕 電波法に規定する電波の質は、次のどれか。

1. 空中線電力の偏差
2. 変調度
3. 電波の型式
4. 周波数の幅

〔4〕 無線従事者が免許証を失って再交付を受けた後、失った免許証を発見したときは、発見した日から何日以内にその免許証を返納しなければならないか、次のうちから選べ。

- | | |
|--------|--------|
| 1. 30日 | 2. 14日 |
| 3. 10日 | 4. 7日 |

〔5〕 第三級陸上特殊無線技士の資格を有する者が、陸上の無線局の空中線電力 50 ワット以下の無線設備（レーダー及び人工衛星局の中継により無線通信を行う無線局の多重無線設備を除く。）で外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作を行うことができる電波の周波数の範囲は、次のどれか。

1. 1,606.5 キロヘルツから 4,000 キロヘルツまで
2. 4,000 キロヘルツを超え 25,010 キロヘルツ未満
3. 25,010 キロヘルツから 960 メガヘルツまで
4. 960 メガヘルツを超え 1,215 メガヘルツ未満

〔6〕 無線従事者がその免許を取り消された場合、無線従事者の免許が与えられないことがあるのは、取消の日からどれほどの期間か、正しいものを次のうちから選べ。

1. 6か月
2. 1年
3. 1年6か月
4. 2年

法

〔7〕 次の文は、秘密の保護に関する電波法の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受してそのを漏らし、又はこれを窃用してはならない。」

1. 情報
2. 通信事項
3. 存在若しくは内容
4. 相手方及び記録

〔8〕 無線局が臨時に電波の発射の停止を命ぜられることがある場合は、次のどれか。

1. 暗語を使用して通信を行ったとき。
2. 発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えたとき。
3. 免許状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用したとき。
4. 発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認められるとき。

〔9〕 免許人（包括免許人を除く。）が正当な理由がないのに無線局の運用を引き続き何か月以上休止したときにその免許を取り消されることがあるか、次のうちから選べ。

1. 6 か月
2. 3 か月
3. 2 か月
4. 1 か月

規

〔10〕 電波法に違反して運用した無線局を認めたとき、電波法の規定により免許人がとらなければならない措置は、次のどれか。

1. その無線局の免許人を告発する。
2. その無線局の免許人にその旨を通知する。
3. 総務省令で定める手続により総務大臣に報告する。
4. その無線局の電波の発射を停止させる。

〔11〕 免許人は、免許状に記載された事項に変更を生じたときは、どのようにしなければならないか、次のうちから選べ。

1. 直ちに届け出る。
2. 免許状の訂正を受ける。
3. 再免許を申請する。
4. その旨を報告する。

〔12〕 無線局の免許人は、無線従事者を選任又は解任したときは、電波法の規定により、どのような手続をとらなければならないか、次のうちから選べ。

1. 遅滞なくその旨を届け出る。
2. 2 週間以内にその旨を届け出る。
3. 1 か月以内にその旨を報告する。
4. 速やかに総務大臣の承認を受ける。